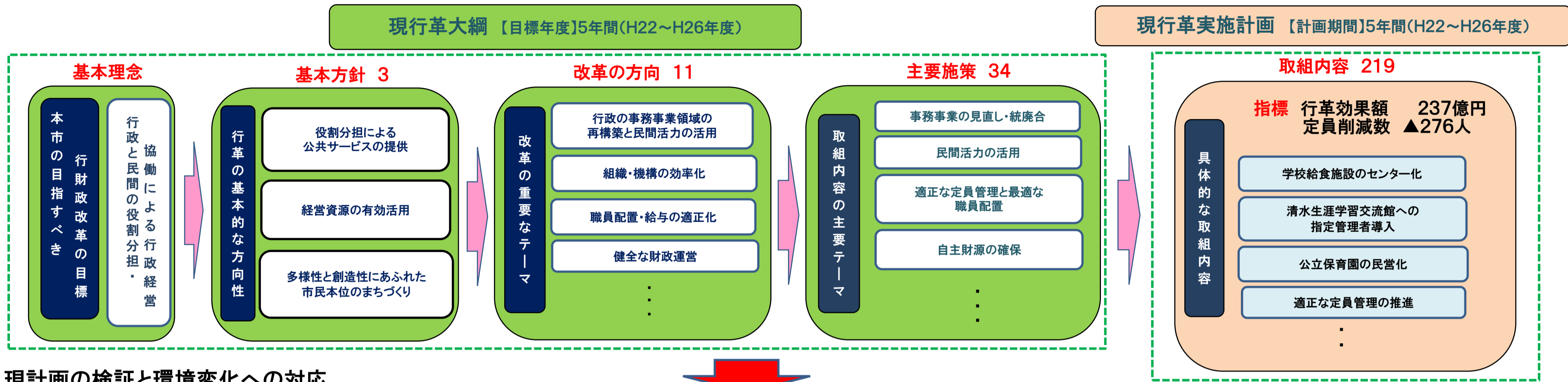
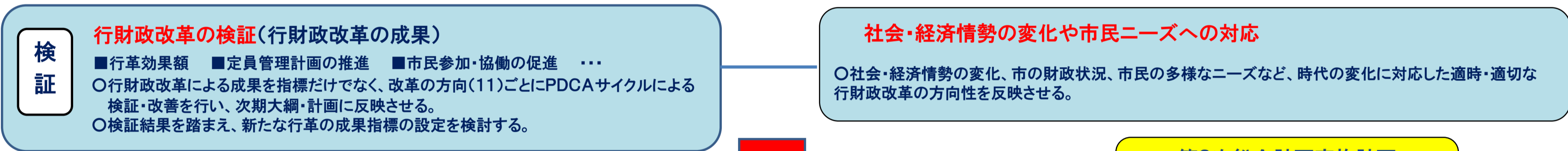


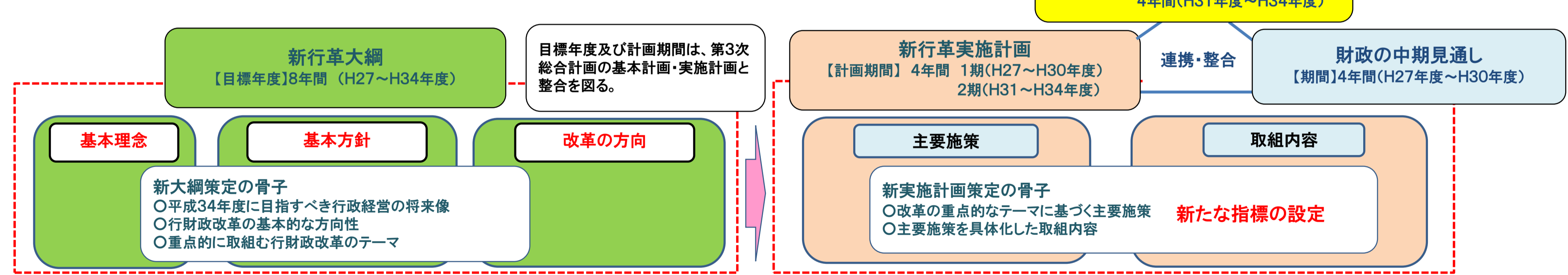
1. 現行革大綱・現実施計画の全体像(目標年度・計画期間・構成)



2. 現計画の検証と環境変化への対応



3. 新行革大綱・新実施計画の全体像(目標年度・計画期間・構成)



本市の目指す「新しい行財政改革」の考え方(素案)

市民のための行財政改革

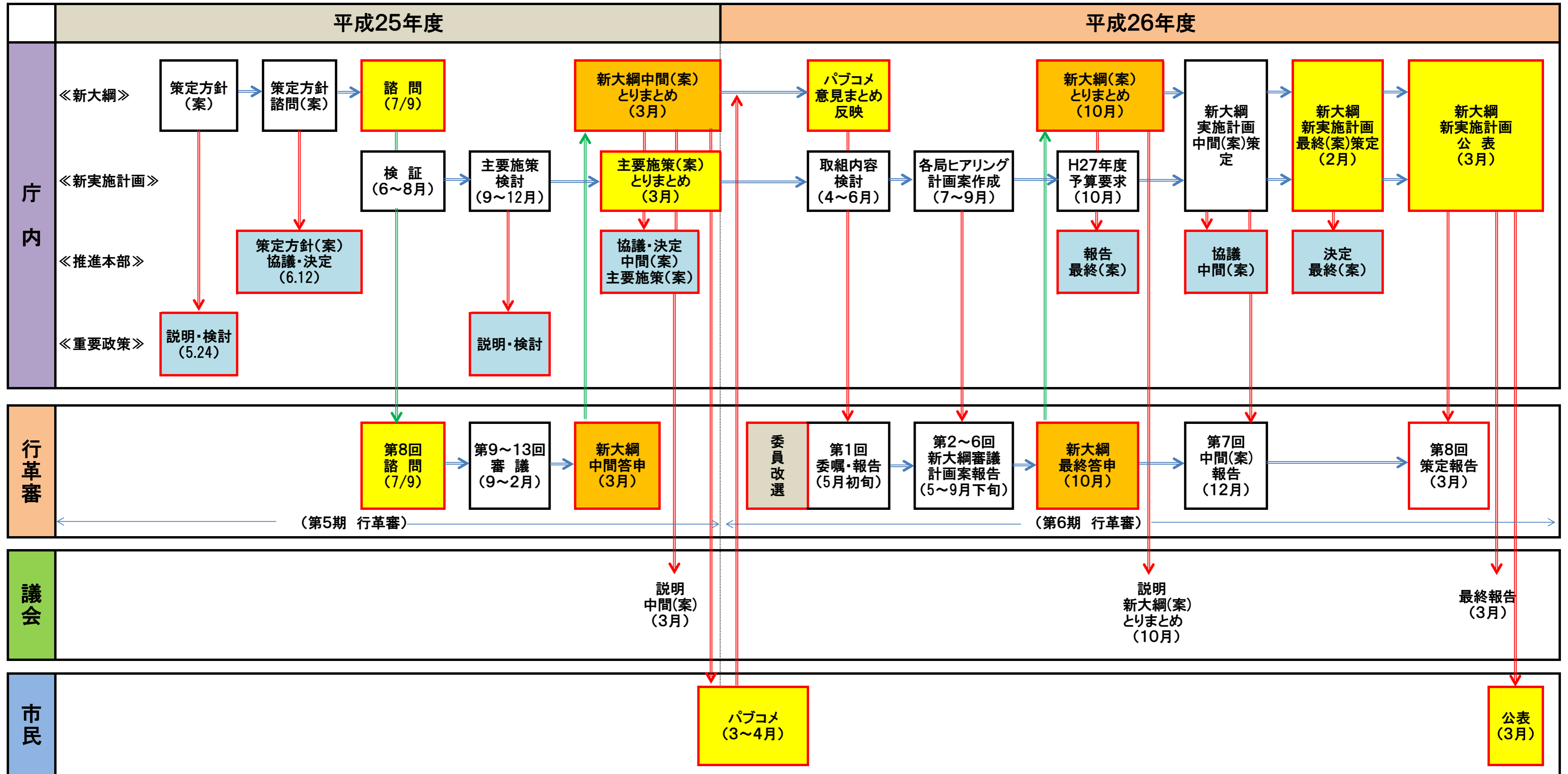
- 市民目線に立ったわかりやすい行財政改革
- 行政のシェイプアップ化による市民満足度の高い行政サービス
- 官民連携と市民協働のまちづくり
- 将来の市の姿を見据えた効率的で生産性の高い行政経営

新行革大綱策定【基本理念・基本方針・改革の方向】キーワード(例)

- 新しい公共経営(NPM:民間経営手法・マネジメントの導入)
- 官民連携の推進(民間活力の導入、官民の役割分担の明確化)
- 総資産の削減・施設の長寿命化(施設のアセットマネジメント)
- 真の地方分権改革の実現(税財源・権限の移譲、特別自治市の実現)
- 新たな行政評価制度の構築(効果的で永続的な制度の確立)
- イノベーションの推進(総合窓口・ワンストップ化サービスの検討・マイナンバー制度の活用、事務事業の削減・見直し)
- 均整のとれた組織の構築(適正な組織・機構、定員・事業のシェイプアップ化)
- 市民との協働の推進(NPO・市民団体との協働事業推進)
- 健全な財政運営(将来にわたり安心できる健全な財政運営)

新行財政改革推進大綱・新実施計画策定方針

4. スケジュール



凡 例	
諮問・答申	→
作成進行	→
説明・報告・意見反映	→

新行財政改革推進大綱・新実施計画策定方針

5. 策定体制

